

## 日本選手コメント【7月10日】

### ◆松本武尊選手(AC・KITA) 400m 予選 1組 3着＝予選通過

「よかったです。最後、後ろから一人抜かされたけど、着順で決勝に行けてよかったです。自分の場合、3レーンはカーブが急で、自分的にはやりにくいレーンというのがあって、最初からスピードを出したのですが、それが結構うまいことって、余裕をもって着順でいけたので、よかったなと思います。決勝は、メダルはちゃんと狙っていこうかなと思います。」

### ◆中西麻耶選手(阪急交通社) T64 走り幅跳び 銅メダル

「ありがとうございました。こんなに、準備のできなかつた世界選手権は初めてだったんですけど、最後の3週間ぐらいの追い上げの練習が、すごくうまくいって。毎回、動画を重ねて見たりするんですけど、ほぼシンクロしているぐらいな感じの、精度の高い助走はできるようにはなっていたので、あとは、自分の中で、何か吹っ切れればいいのかとか、現地に入ってから、足を見てくれる人いるかなと。ちょっとした心配が最初の2本目ぐらいまでは続いたのかなって感じだったんですけど、それからは、ある程度自分らしい跳躍っていうのができたのではないかなと思います。

スタートリストを見た時も、たぶん私が1番古株だったと思うし、今日1番下の子で17歳の子を相手にしていた。やっぱりそこはベテランとして、堂々とした立ち振る舞いで、何か若いアスリートに与えられるものを残せたらいいなっていう感じで挑みました。」

### ◆山本篤選手(新日本住設) T63 走り幅跳び

「状態は良くないまま進んでしまった。(腰の調子が)しっかり調整したつもりだが痛みを取り切ることができなかった。1本目から勝負かなと思って跳んだが良いジャンプではなかった。リズムを変えたり色々チャレンジしてみたが難しかった。一旦休んで今後どうするか考えたい。(今シーズンは)跳んでて全く楽しくないので、まずは体を休めたい。」

### ◆近藤元選手(摂南大学) T63 走り幅跳び

「自己ベスト更新は絶対したいなと思っていたので悔しいです。緊張は無かったと思うが体が固まっていたみたい。バテてしまったかな。(海外の)跳んでいる選手は助走が速い。(自分の)そこが一番の課題かと。来年までにしっかり完成させていきたい。」

◆鈴木徹選手(SMBC 日興証券) T64 走り高跳び

「状態は良かったが、最近は少しうまくいかなくなると修正できないでそのまま終わってしまう。反省している。1m94 くらいは狙っていたが……。若い時は無意識にできたことが今は少しバラつく感じ。その辺が難しい。

今回は、スタッフとしてもパリに来ているので、若い選手たちのサポートをしていきたい。」

◆久保恒造選手(日立ソリューションズ) T54 5000m

「決勝は楽しかったです。メダル争いの雰囲気を感じたことは良い経験になりました。

2 位争いの中でも自分より強い選手がいて反応できなかったことは自分の実力だが、持ち味でもある粘りの走りで 7 位になれたことは良かった。」

◆唐澤剣也選手(SUBARU) T11 5000m 金メダル

「ラストはちょっと出来すぎかなと。ただ周りの状況を細かく 2 人が説明してくれたのでレースをイメージしながら落ち着いて整理して走ることができて、応援を背負って最後は気持ちで押し込みました。(6 月のジャパンパラから)ここ 1 か月は気持ちを入れて集中して練習した。帰ってみると喜びたい。パリパラリンピックでは、ライバルたちに負けないように再び金メダルを取れるように頑張りたい。

ガイドの小林さん「4 月から森下と組んできて森下が 3 キロまでいけたら自分のところで勝負できるかなと思ったので良かった。唐澤さんの馬力勝ちでした」

ガイドの森下さん「初の世界選手権で金メダルということで自分でも良い経験ができて今日は唐澤さんと一緒にお祝いしたい。」

◆和田伸也選手(長瀬産業) T11 5000m

「ラストに絡めることができなかつたのが残念。少し体がきつかったかな。メダルが届かなかつたのが残念。1500mに切り替えて頑張りたい。

ガイドの山下さん「和田さんとやれる準備はできたので特に不安はなかった。交代のタイミングも予定通り。」

ガイドの長谷部さん「意外とハイペースだった印象。4 位は取れたので次の 1500mに向けてしっかりリカバリーして備えたい」